

# 島根労働局

## 安全衛生労使専門家会議を開催

島根労働局健康安全課

2月20日（木）、山陰酸素グループの協同組合さんそ容器検査所様のご協力のもと、「令和6年度島根労働局安全衛生労使専門家会議」を開催しました。

本会議については、コロナ禍の影響によりしばらく会議形式のみの開催とじていましたが、今年度は5年ぶりに事業場パトロールを含む形式で開催しました。

今年2月から『化学物質管理強調月間』が始まったこともあり、会議のメインテーマを「化学物質の自律的管理」とし、冒頭、協同組合さんそ容器検査所の渡邊所長から、事業場の取組について説明いただきました。

### 【協同組合さんそ容器検査所様の取組】

「誰もが安心して働くことができる安全な職場づくり」という企業理念のもと、資本を投入し、従来、作業員が手作業で行っていた塗装作業を機械化しました。これにより、作業員の化学物質ばく露防止を図るとともに、塗装作業の高速化と塗装作業員の柔軟な配置を実現しました。

これは、安全衛生対策に取り組むことによる経営、人材確保といった観点からのメリットを享受するものであり、昨今、重視されている「人的資本経営」の考えに適うものです。

渡邊所長の案内のもと、場内をパトロールした後、委員による意見交換を行いました。

委員からは、パトロール結果の講評のほか、県内の事業場における化学物質の自律的管理の進捗状況や課題点、行政に対する要望等について意見をいただきました。

また、高年齢労働者の労働災害防止対策について、体力テストの導入や外部講師による体操、ウォーキング活動等事業場が行っている具体的な取組内容の共有を行いました。ご意見等を参考とし、今後の行政施策等に反映いたします。